システム設定マニュアル
Approach DAM
メールDMサーバーアップデートマニュアル

目次

はじめに 3
事前準備 4
メールDMサーバーのアップデート 9

はじめに

本マニュアルはNIコンサルティング（以降、弊社と表記します）が提供する Approach DAM付属の「メールDMサーバー」のアップデート作業に関するマニュアルで、アップデートの事前準備から完了までの一連の作業の流れと注意点を説明しています。

> ⚠ 注意
>
> - トラブルを避けるためにもアップデートを行う際は本マニュアルの内容を一読いただき、手順に従って設定・操作を行ってくださいますようお願い申し上げます。

▶ 概要

弊社から提供されるアップデートメディア（CD-ROM）の適用あるいはオンラインアップデートを適用してApproach DAMを新しくすると、メールDMサーバーが古いバージョンのままでは十分な動作をしなくなる可能性があるためメールDMサーバーもあわせて新しいバージョンにするアップデート作業が必要になります。

本マニュアルの内容に従い、メールDMサーバーのアップデート作業を行って、メールDMサーバーを新しいバージョンにします。作業にあたっては次の点にご注意ください。

- アップデート作業中はメールDMサーバーを停止させる必要があり、その間はメール配信は行えませんのでアップデート作業の時間帯に配信予約が重ならないように予め調整をお願いします。
- メールDMサーバーがメールの配信中は本アップデート作業は行わないようにしてください。必ずメールDMサーバーが配信中でないことを確認の上、本アップデート作業を行ってください。

> ⚠ 注意
>
> - メールDMサーバーのアップデート作業は事前準備から完了まで、およそ10分から15分程度で完了します。

> ⚠ 注意
>
> - メールDMサーバーで使用しているApacheをメールDMサーバーインストーラーを使用せずに独自にインストールした環境では、本マニュアルのアップデート作業は対応していません。その場合は、恐れ入りますが、現在稼働中のメールDMサーバーをアンインストール後に新しいバージョンのメールDMサーバーをインストールすることでアップデート作業の代替としてください。

事前準備

メールDMサーバーのアップデートは2つの方法があります。いずれも専用のツールをメールDMサーバー上に配置してそれらを実行する流れになります。

アップデート方法1. 「最新の弊社製品CD-ROMに収録されているツールを実行」

アップデート方法2. 「弊社製品内の専用URLからツールをダウンロードし実行」

> ⚠ 注意
>
> - 製品バージョンとメールDMサーバーのバージョンが適切な組み合わせになることから、最新の弊社製品CD-ROMが提供されている場合は必ずアップデート方法1で実施をお願いします。

▶ アップデート方法1. 「最新の弊社製品CD-ROMに収録されているツールを実行」

1. CD-ROMに収録されている「mod」フォルダ、「dm-update.bat」ファイルをデスクトップなど任意のフォルダへコピーしてください。

▶ アップデート方法2.「弊社製品内の専用URLからツールをダウンロードし実行」

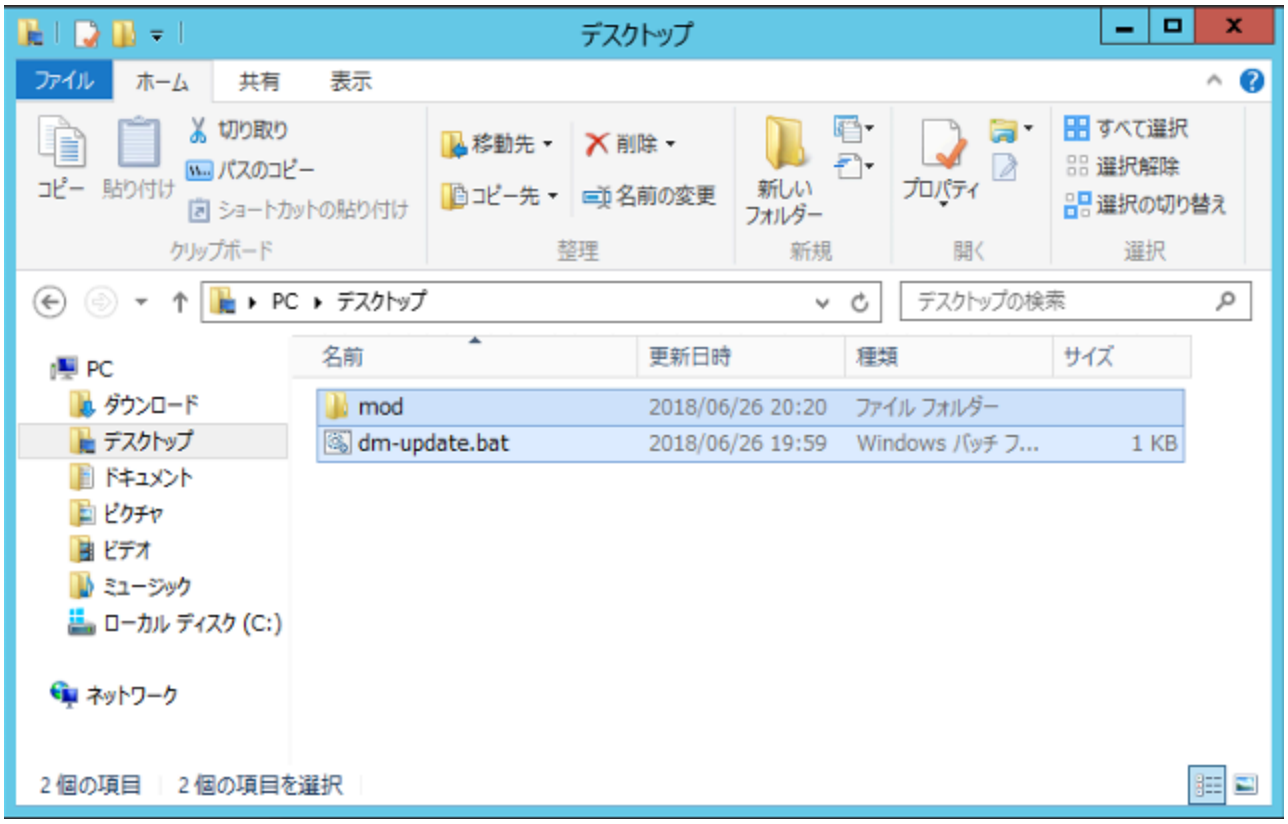
1. システム設定「Approach DAM」＞「メール」＞「メールDMサーバーダウンロード」を選択します。



2. 「メールDMサーバーのダウンロード」画面が開きます。
画面内の「ダウンロード」ボタンをクリックしファイル（nidam.zip）をダウンロードします。



3. ダウンロードしたファイルを解凍ソフトを使って展開し、収録されている「mod」フォルダ、「dm-update.bat」ファイルをデスクトップなど任意のフォルダへコピーしてください。



ファイルのコピーが完了したら、次の『メールDMサーバーの終了』へ進みます。

> ⚠ 注意
>
> - Cドライブ直下など、システム上特別なフォルダにコピーすると、適切な権限が必要になる場合があります。

▶ メールDMサーバーの終了

メール配信中でないことを確認の上、メールDMサーバーを終了させてください。Approach DAMをアップデートメディアまたはオンラインアップデートを適用してバージョンアップする場合は、できるだけ、それらのバージョンアップ作業よりも前に停止してください。

終了方法は起動しているメールDMサーバーのコマンドプロンプトの右上の×ボタンで閉じます。また、停止する前に、メールDMサーバーの現在のバージョンを確認します。確認方法は起動中のメールDMサーバーのコマンドプロンプトのバージョン番号を確認します。



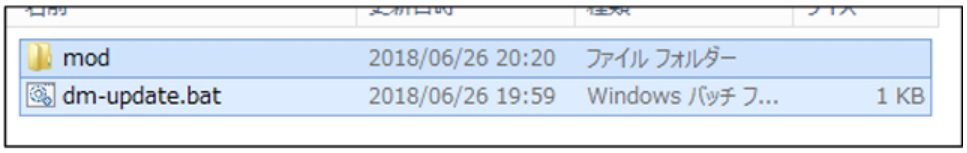
▶ Approach DAMのバージョンアップ・アップデート

Approach DAMのバージョンアップ・アップデートが必要な場合は、メールDMサーバーが終了している間にアップデートメディアやオンラインアップデートを適用してください。

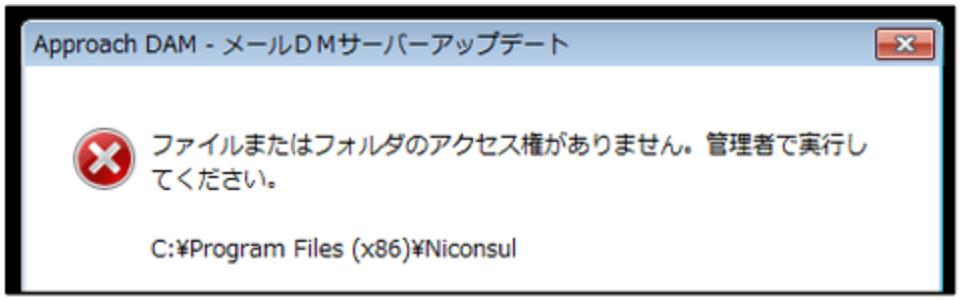
メールDMサーバーのアップデート

本章ではメールDMサーバーをアップデートする手順を説明しています。

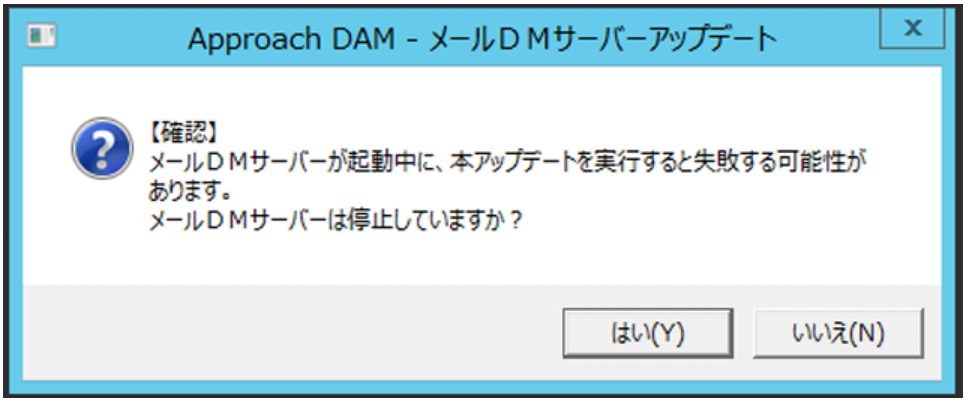
1. メールDMサーバアップデートプログラム「dm-update.bat」をダブルクリックします。



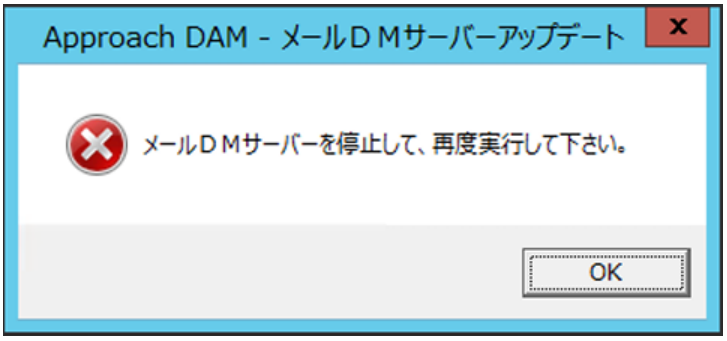
本アップデート作業中に以下のようなエラーが発生する場合は、管理者として実行する必要があります。その場合は、「dm-update.bat」を右クリック>「管理者として実行」を選択して、再度アップデートをお試しください。



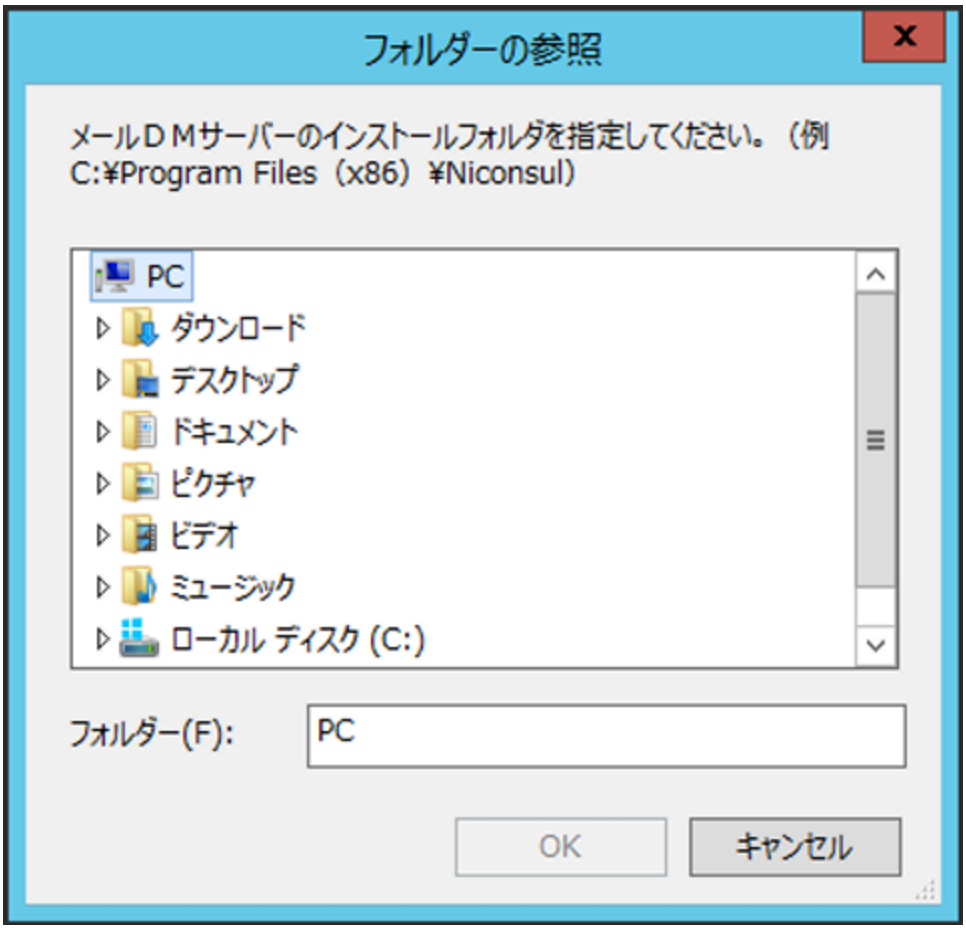
2. メールDMサーバーの停止確認が表示されます。必ず前掲の手順でメールDMサーバーを停止させてから、「はい」で操作を進めます。



メールDMサーバー停止確認で「いいえ」を選ぶと、アップデートは実行せずに終了します。メールDMサーバーを停止後に再度アップデートを実行してください。



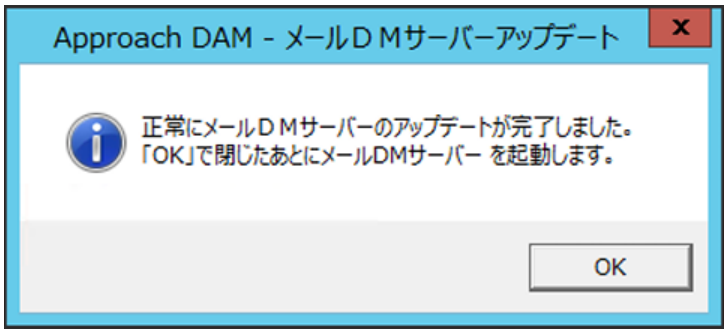
3. メールDMサーバーがインストールされているフォルダを指定します。フォルダを選択して「OK」でアップデートを開始します。デフォルトのインストール先は「C:¥Program Files（x86）¥Niconsul」です。「キャンセル」でアップデートを実行せずに終了します。



万が一、メールDMサーバーがインストールされていないフォルダを選択すると、エラーが出力されます。「OK」をクリックしてから再度フォルダを選択しなおしてください。



4. アップデートが正常に完了すると完了した旨が表示されます。「OK」でアップデートダイアログは閉じられ、メールDMサーバーが起動します。



> ⚠ 注意
>
> - OSの再起動が必要と表示された場合は、指示に従いOSを再起動します。
> 万が一OSを再起動しないで、DMサーバーを起動すると誤動作の原因となります。

5. アップデート後のメールDMサーバーのバージョンを確認します。
   メールDMサーバーを起動し、メールDM管理> 基本設定> 状態一覧の「メールDMサーバーバージョン」が「10.0.5」であることを確認してください。
6. すべての作業が完了したら、コピーしていた「mod」フォルダと「dm-update.bat」ファイルは不要なので削除します。

以上でメールDMのアップデート作業は完了です。
